

ザ・ハルマゲドン／ワーロック リターンズ (1993)

WARLOCK: THE ARMAGEDDON

メディア 映画

ジャンル アクション ファンタジー ホラー

製作国 アメリカ

時間 98分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

「ワーロック」第2弾だが、魔導師をJ・サンズが演じているという事だけが共通点。1000年に一度訪れる、月蝕の6日後に日蝕の起こるとき、神の力がこの世界に及ばなくなりサタンが復活するという。そして今がまさにその月蝕の夜。サタンをこの世に生み出すべく悪魔の子、地獄の尖兵ワーロックが誕生した。6日後に迫ったサタン復活を阻止する事が出来る唯一の勢力、ドルイド僧の末裔たちはその力ゆえ周囲の人々に悪魔と呼ばれ迫害を受けているが、それでも人類を守る為に戦いを開始する。この作品、一応はアクション・ファンタジーとでも言うべき内容なのだが、ファンタジーの匂いが強い。ルーンストーン占いのシーンが“どーしてそー解釈できる!?”な強引さだったりしてそちら系ファンにはいまひとつ。むしろフェティシズム系のファンにお勧めの作品。ワーロック誕生のシーンは半裸の美女がドス黒い血を垂れ流したり、その血にまみれてのたうったりとまるっきり汚水まみれフェチ好みだし、ワーロックがヒロインを縛り上げていたぶりまくるシーンはほとんどSM以外の何物でもない。他にはワーロックの無邪気な鬼畜ぶりと、主人公の空中クンバカのシーンが笑える。いや、笑っちゃいかん。

【クレジット】

監督	アンソニー・ヒコックス	Anthony Hickox
製作	ピーター・エイブラムス	Peter Abrams
	ロバート・L・レヴィ	Robert L. Levy
脚本	ケヴィン・ロック	Kevin Rock
撮影	ジェリー・リヴリー	Gerry Lively
音楽	マーク・マッケンジー	Mark McKenzie
出演	ジュリアン・サンズ	Julian Sands
	ポーラ・マーシャル	Paula Marshall
	クリス・ヤング	Chris Young
	ジョアンナ・パクラ	Joanna Pacula
	R・G・アームストロング	R.G. Armstrong
	スティーヴ・カーン	Steve Kahan
	チャールズ・ハラハン	Charles Hallahan
	ブルース・グローヴァー	Bruce Glover
	クレイグ・ハーリー	Craig Hurley
	ザック・ギャリガン	Zach Galligan